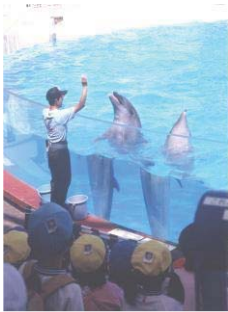


須磨区計画原案

地域の力と
情熱があふれる
住みよいまち -須磨-





計 画 の 構 成

<第1部> 須磨区計画とは…

- ◆ 「須磨区計画」の位置づけ …… 3

<第2部> 須磨区の現状と課題、区民の思い

- ◆ 須磨のすがた ……4
- ◆ 須磨区の人口 ……5
- ◆ 区民まちづくりアンケートの結果 ……7
- ◆ 区民まちづくりシンポジウムの結果 ……9
- ◆ 区民リーダーや大学生のまちへの思い ……9

<第3部> これまでの取り組みから生じた課題

- ◆ 須磨区中期計画の実践での課題 ……10
- ◆ 区民と行政が協働で「選択と集中」の視点で策定 ……10

<第4部> 2025年の将来像と5年間の重点テーマ

- ◆ 2025年の将来像 ……11
- ◆ 須磨区の将来像のイメージ ……11
- ◆ 2015年度までの重点テーマ ……12

<第5部> 2015年度までの中期計画

- ◆ 取り組みの基本姿勢 ……13
- ◆ 重点テーマごとの取り組み
 - 1. 安全・安心のまち ……15
 - 2. とともに地域で元気にらせるまち ……19
 - 3. 子どもが健やかに育つまち ……23
 - 4. 花と緑そして水に囲まれた美しいまち ……27
 - 5. 地域の魅力を育み活かすまち ……31
- ◆ 「須磨いる目標」の設定 ……35

資 料 編

- ◆ 策定までの経緯 ……36

須磨区計画とは…

これまで、2010(平成22)年度を目標年次とする、「須磨区区別計画(1996(平成8)年策定)」や「須磨区中期計画(2005(平成17)年策定)」に沿って、区民と行政が協働でまちづくりを進めてきました。その過程で、社会情勢や地域状況の変化による、さまざまな課題も出てきました。

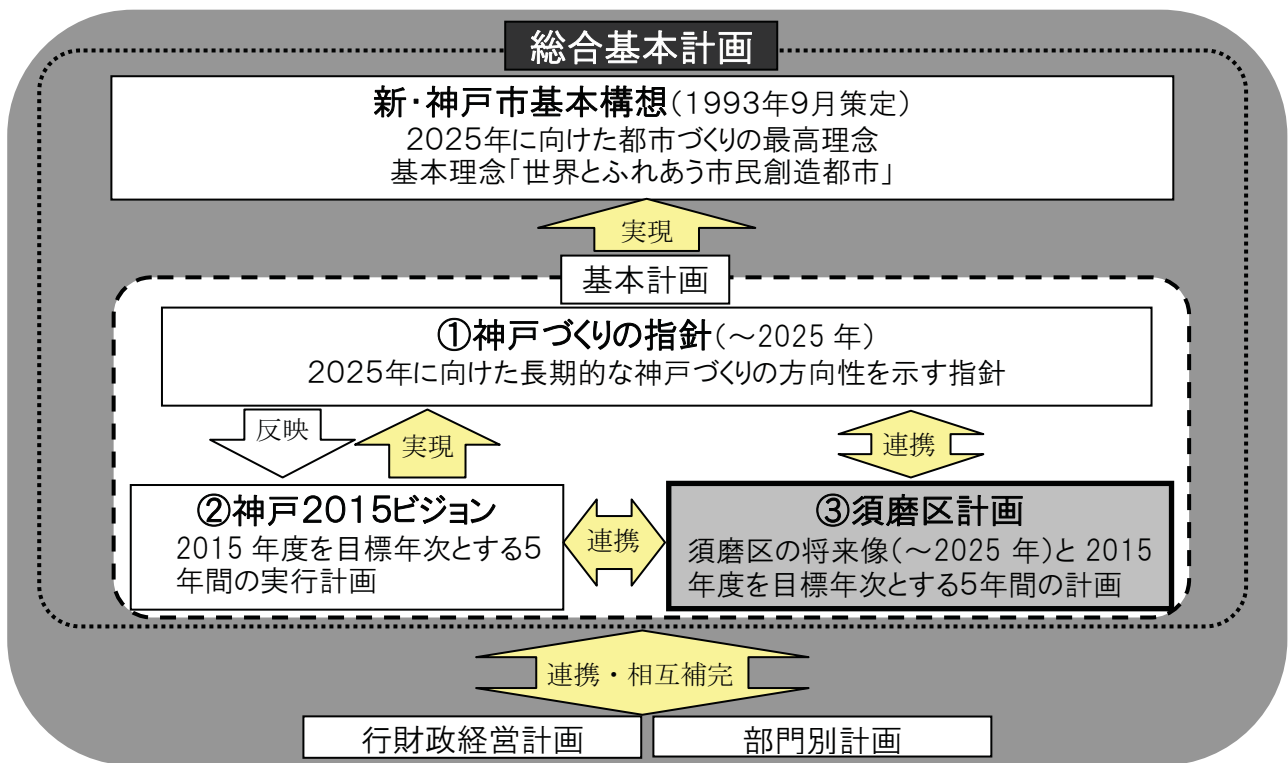
これらの課題の解決や今後の取り組みの方向性を示すため、新たに「須磨区計画」を策定しました。

「須磨区計画」は、2025(平成37)年の「区の将来像」と、その実現のために、2015(平成27)年度までの5年間に、区民と行政が協働で取り組んでいくことをまとめたものです。

策定にあたっては、区民のみなさんや地域団体などのご意見をお聞きし、須磨区区民まちづくり会議が中心になって、とりまとめました。

「須磨区計画」の位置づけ

「須磨区計画」は、神戸市の計画(下図)を構成する一つの計画と位置づけています。



① 神戸づくりの指針

神戸市の最高理念である「新・神戸市基本構想」の目標年次である2025(平成37)年に向けた、長期的な神戸づくりの方向性を示す指針で、都市づくりの基本となる考え方や長期的・継続的に取り組むべき基本的な方向性を定めています。

② 神戸2015ビジョン

神戸づくりを戦略的に進めていくために、2015(平成27)年度を目標年次とする5年間の実行計画です。

③ 須磨区計画

区の個性や特性を活かし、生活に密着した分野を中心に、区民と行政が目標を共有し、協働で取り組んでいくための計画です。

「神戸づくりの指針」や「神戸2015ビジョン」、「須磨区計画」は、基本構想の実現のための基本計画として、相互に連携しながら一体的に取り組んでいきます。

須磨区の現状と課題、区民の思い

須磨のすがた

須磨は、古い歴史を持ち、阪神・淡路大震災による壊滅的な被害から復興した既成市街地と、住宅や公園、公共施設などが計画的に配置され、調和のとれたまちとして、昭和40年代から入居が始まったニュータウン、都市近郊に今も田園風景を残す農業地域、これらの地域を森・川・海が包み込むように構成されています。

区内には、白砂青松の須磨海岸や須磨アルプス、妙法寺川などの身近な自然環境がまちに隣接し、源平合戦や源氏物語などの歴史、文学を語る史跡、名所がいたるところにたたずみ、古から風光明媚な住みよい土地柄としても知られています。

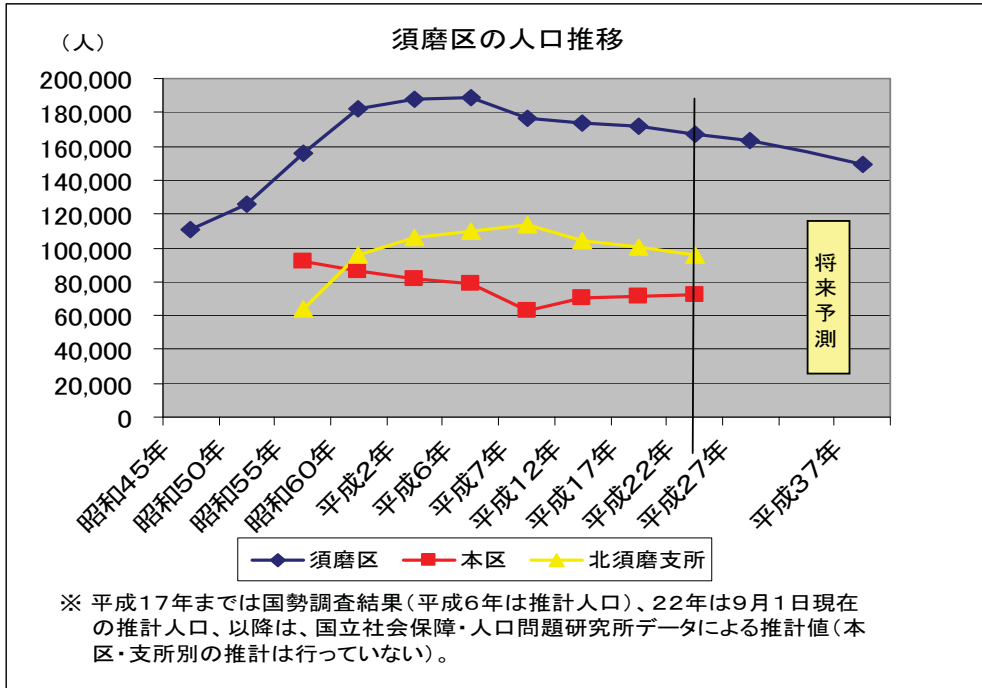
このような環境の中、須磨の人々は、身近な自然や歴史に寄り添いながら暮らしてきたと言えます。



須磨区の人 口

>> 全体の人口 <<

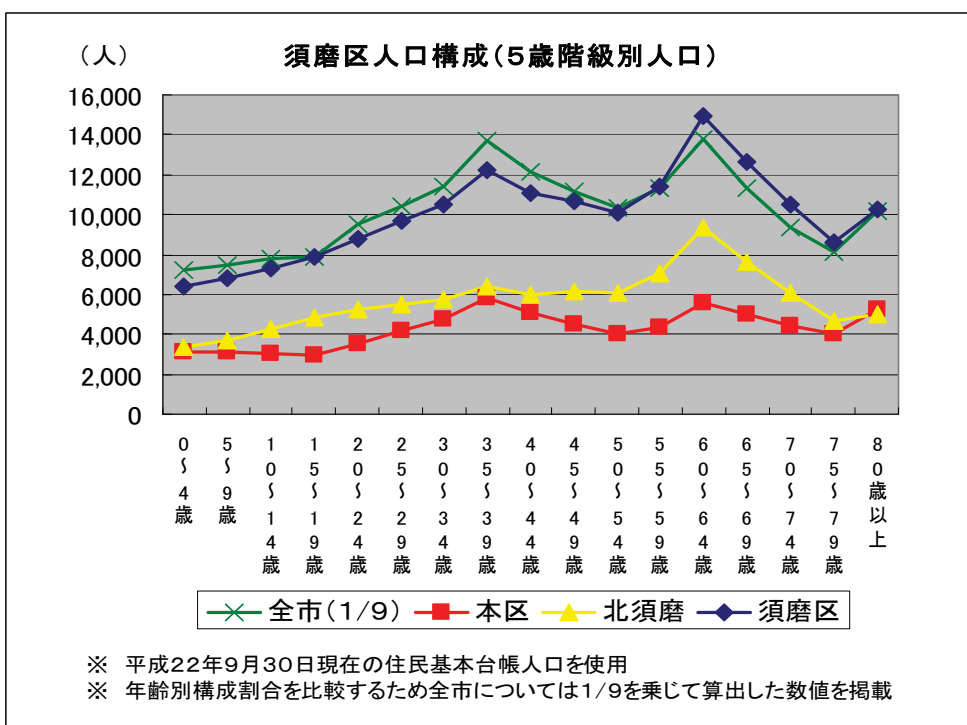
須磨区の人口は、須磨ニュータウンの開発に伴い、昭和50年代から急増していましたが、60年代からは、横ばいとなり、平成6年の約18万9千人をピークに微減の傾向が続き、現在、約16万8千人となっています。将来的にも、須磨区全体の人口は減少の傾向であると予測されます。



>> 人口における年齢構成 <<

須磨区の年齢別の人口構成に関しては、全市の平均と比べて、20歳代から40歳代の人口が少なく、60歳代以上の人口が多くなっています。特に北須磨支所管内では、60代前半のいわゆる「団塊の世代」の割合が高いことが特徴です。

また、本区では、35歳前後の「子育て世代」の割合が高いと言えます。

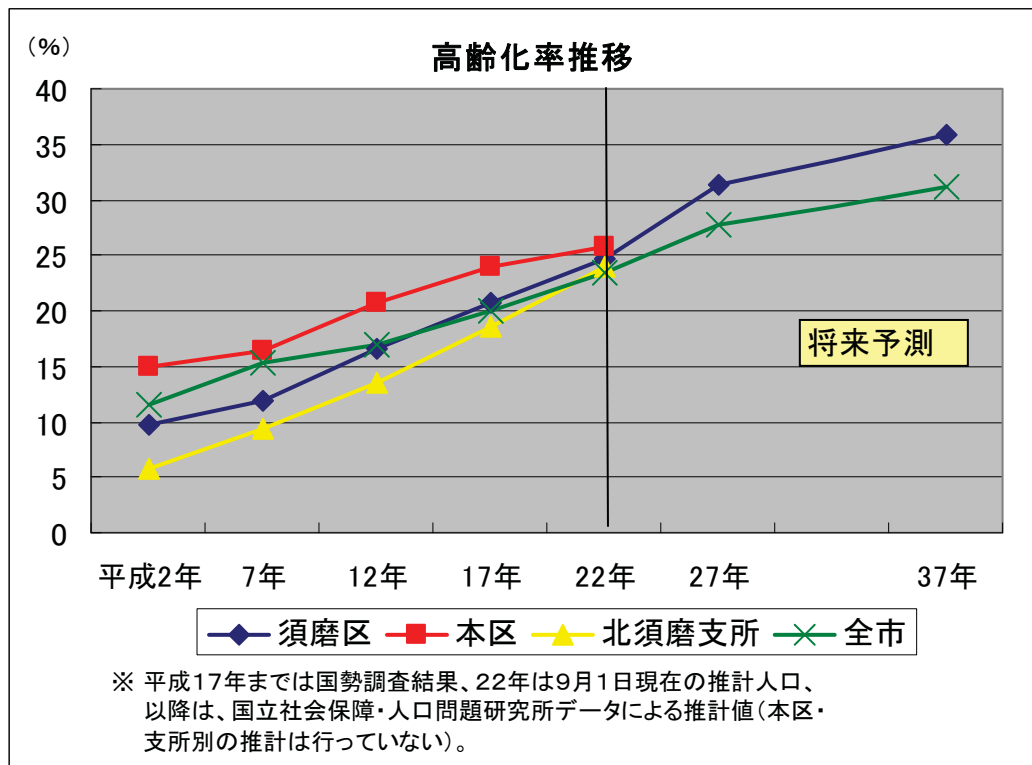


>> 高齢化率の推移 <<

須磨区でも少子高齢化が進んでおり、本区、北須磨支所管内ともに、高齢化率は全市の平均を上回っています。中でも友が丘地域などでは、高齢化率が40%を超える推移を示しています。

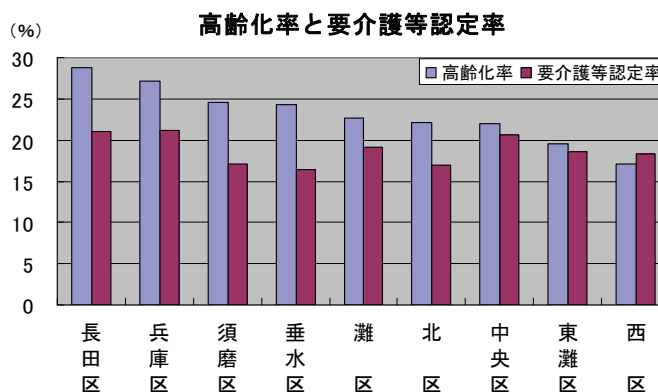
特に、北部のニュータウン地域では、子どもの減少などが見られるとともに、急速に高齢化が進んでいます。

(※ 高齢化率は、全人口に占める65歳以上の人口の割合です。)



>> 高齢化率と要介護等認定率 <<

高齢化率は長田、兵庫について3番目に高くなっていますが、65歳以上の方の要介護等認定率では全区で7番目となっています。



※ 高齢化率は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳および外国人登録の人口を使用
 ※ 要介護等認定率は、平成22年3月31日現在の第1号被保険者数に占める要介護・要支援者数の割合(「神戸市介護保険制度の実施状況」より)

<須磨区の人口の特色>

本区では、マンション建設などにより、30～40歳代の「子育て世代」の増加が見られる地域もあり、近年は下げ止まりの傾向にあります。一方、支所管内では、「団塊の世代」とそれに先行する世代の比率が高く、人口は減少傾向が続いています。

全体として、高齢化は進んでいますが、要介護等認定率は低いため、「元気な高齢者」が多いと言えます。

区民まちづくりアンケートの結果

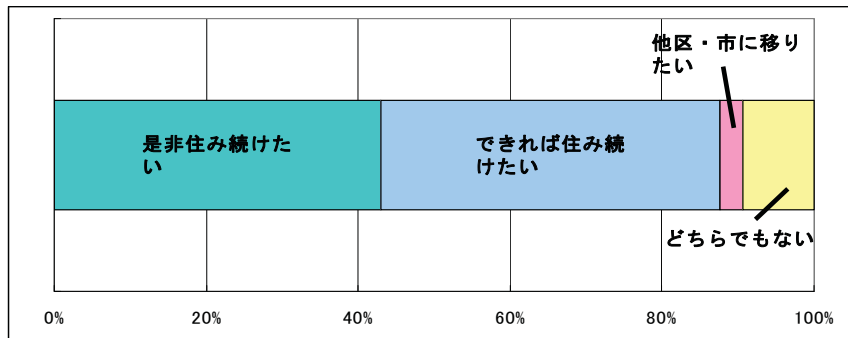
須磨区計画の策定にあたり、須磨区民のニーズや区の課題などを確認するため、「区民まちづくりアンケート」を実施しました。

<実施概要>

期 間：平成21年1月29日～2月25日
 対 象：20歳以上の須磨区民 約3,300人
 回収数：1,014件(30.7%)

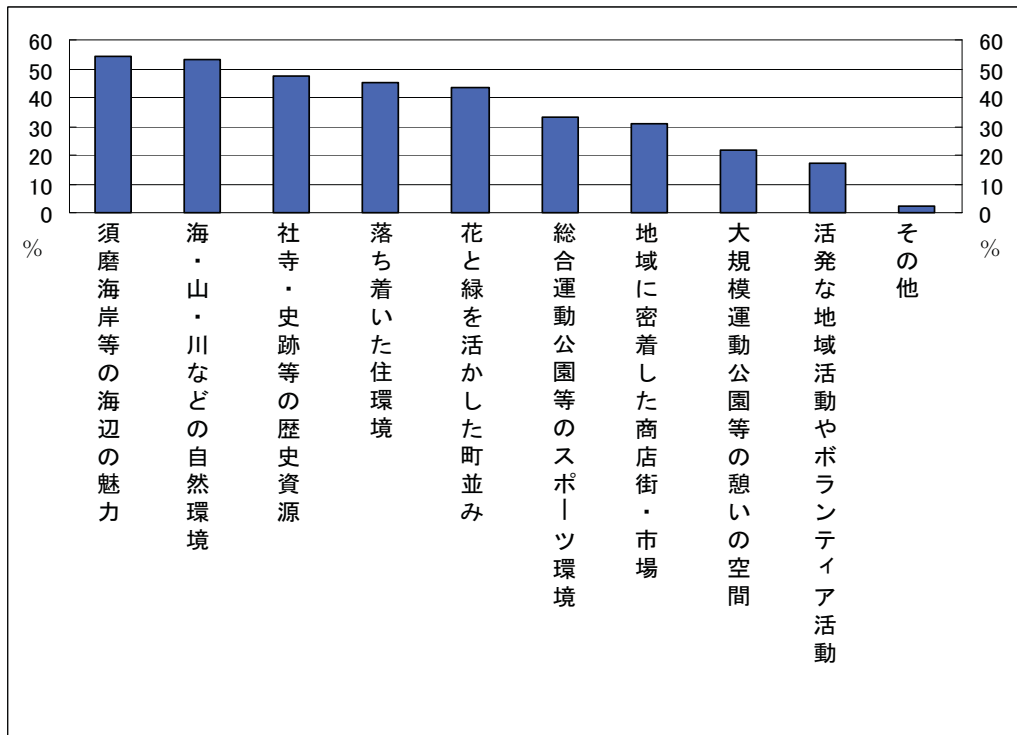
<主な質問と結果>

◆ これからも須磨に住み続けたいですか？



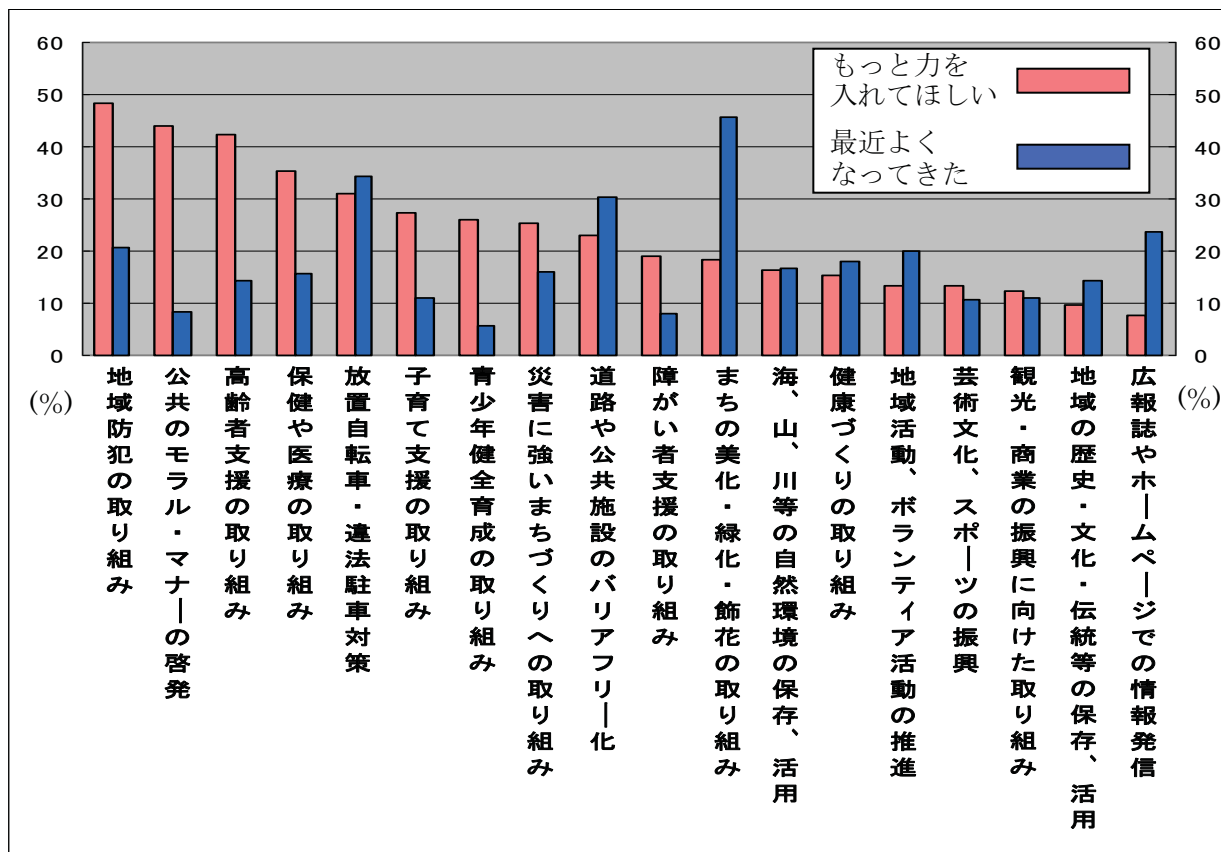
87.7%の人が、「住み続けたい」と回答しています。

◆ 今後伸ばしていくべき「須磨の魅力」は何と思いますか？



自然環境や歴史資源、落ち着いた住環境などの回答が多くなっています。

◆ もっと力を入れてほしいと思う取り組み、最近よくなってきたと思う取り組みはどれですか？



もっと力を入れてほしい取り組みは

1. 地域防犯の取り組み
2. 公共のモラル・マナーの啓発
3. 高齢者支援の取り組み

の順に高くなっています。

最近よくなってきたと思う取り組みは

1. まちの美化・緑化・飾花の取り組み
2. 放置自転車・違法駐車対策
3. 道路や公共施設のバリアフリー化

の順となっています。

<気になるデータ>

地域の治安については、「あまり良くない」と「悪い」の回答が48.7%となっています。

また、気になる公共モラル・マナーについては、「ごみのポイ捨て」や「ペットの飼育マナー」がともに約65%と高い値になっています。

<アンケート結果のまとめ>

須磨区中期計画の策定後、区民と行政による協働の取り組みが進み、ある程度の満足度を得られていますが、公共モラル・マナーや地域防犯の取り組みへのニーズは高くなっています。

地域の自然や歴史的な資源を守り育てながら、「住みよいまち」を追求していきたいというニーズが高いことがうかがえます。

<結果から見た課題>

防犯や高齢者支援、保健や医療の関係など、「安全・安心」・「住みよさの追求」を望む声が多いことにあわせ、放置自転車や公共のモラル・マナーなどに対する啓発を望む声が多く、区民と行政が協働で、仕組みづくりや個人の気づきの啓発を進める必要があります。

区民まちづくりシンポジウムの結果

“区民の情熱と力によるまちづくり”をテーマに「住みよいまちづくり」や「魅力の発掘・発信の取り組み」、「自然環境を次世代に引き継ぐ取り組み」などについて、須磨区区民まちづくり会議委員から、今後の方向性を踏まえた具体的な発表がありました。

<実施概要>

日時：平成21年7月16日 10:00～11:40

場所：須磨区民センター4階 大ホール

参加数：約250人



主な発表内容

- ◆地域活動の最終目標は、「人と人との絆」を形成することである
- ◆行政と地域がそれぞれの役割をしっかりと果たしていくことが必要である
- ◆様々な取り組みの主体は地域であり、「みんなで支えあう」ことが大切である
- ◆次の世代の人たちが誇りを持てるような地域づくりをめざしていきたい
- ◆地域団体相互が連携して取り組みを進めることが、地域活性につながる
- ◆自分たちでできることを自分たちで進め、その活動の広がりにより、人の輪が形成され、これを継続することで、まちが元気になる

区民リーダーや大学生のまちへの思い

区内で地域活動を続けている区民リーダー、須磨区在住の大学生などを対象に、須磨区の現状と課題、その解決方法などに関する意見交換を行いました。

<実施概要>

日時：平成22年9月12日、16日、28日、29日

参加：・防犯・防災、健康づくり・子育てなどの分野で活動する区民リーダー
・神戸女子大学・神戸学院大学の学生
・区民まちづくり会議委員



<「区民リーダー・大学生のまちへの思い」のまとめ>

- ◆地域間、リーダー相互の横のつながりや情報不足が課題
- ◆催しの企画段階から若年層に参画してもらった仕組みづくりや中学生などの地域活動への参加を進めることが必要
- ◆地域愛をさらに高めるため、地域ごとのまちの特性、課題、魅力を知り、活動につなげていくための仕組みづくりが必要
- ◆ニュータウン地域と須磨南部で、情報や人の交流が少ないため、南北のつながりを創出する取り組みが必要
- ◆若年層をターゲットにした取り組みや異世代が交流できる仕組みづくりが必要
- ◆安心してらせる「生活の基盤」を大切にするとともに、「魅力」を伸ばしていくことも必要

これまでの取り組みから生じた課題

須磨区中期計画の実践での課題

新たな計画づくりにあたっては、「須磨区中期計画(2005(平成17)年策定)」におけるこれまでの取り組み、課題を踏まえておく必要があります。

中期計画では、以下の6つの重点テーマを設定し、区民と行政が協働で取り組みを進め、検証・評価を行ってきました。5年間の取り組みから見えてきた「課題と方向性」を須磨区計画へ継承します。

安全・安心のまち

- ◆各地域において自主的に防犯・防災活動が展開できるよう情報提供や住民相互のネットワーク形成の取り組みを進める
- ◆災害時の要援護者支援体制の検討を進める
- ◆須磨海岸や妙法寺川等における防災対策に継続して取り組む

人にやさしいまち

- ◆「人にやさしいまち」学習会の実施地域を広げ、実践活動を支援していく
- ◆まちの中の施設点検を継続実施し、多くの区民が参加して改善に取り組む場を設ける

ともに地域で元気にらせるまち

- ◆誰もが住み慣れた地域で支えあい元気に暮らすことができるまちづくりを継続して推進する
- ◆健康づくりリーダー活動の更なる充実と区民の健康づくり意識の向上を図る

子どもが健やかに育つまち

- ◆「子育て地域連絡会」の活動支援による身近な地域での子育て家庭を支える環境づくりを進める
- ◆「すまっこサポーター」「子育て地域連絡会」の活動が地域でさらに浸透するよう情報発信を進める

花と緑に囲まれた美しいまち

- ◆森、川、海の身近な自然環境を守り、育てる活動をさらに展開するため、活動団体相互の連携強化を図る
- ◆各種クリーン作戦、迷惑花火パトロール等の地道な活動を継続実施する

地域の魅力を育み活かすまち

- ◆来訪者がまちを快適に散策できるよう案内サインの整備や散策ルートの設定等の情報の充実を図る
- ◆須磨を愛する地域のNPO 法人等による特色ある活動を支援する
- ◆須磨観光協会のさらなる取り組み強化を図る

区民と行政が協働で「選択と集中」の視点で策定

「区民まちづくりアンケート」や「区民まちづくりシンポジウム」などで得た区民のニーズやまちへの思い、須磨区中期計画の取り組み、その検証・評価で出てきた課題と方向性などを整理し、須磨区区民まちづくり会議と行政がいっしょに、「選択と集中」の視点で、計画づくりを進めました。

須磨区区民まちづくり会議は、区のまちづくりについて、区民自らが話し合い、実践を進めることを目的に設置されたもので、区内の各種団体の代表者や有識者などで構成する団体です。

2025年の将来像と5年間の重点テーマ

須磨区区民まちづくり会議と行政がいっしょに、2025(平成37)年の須磨区の将来像を定めました。

さらに、2015(平成27)年度までの当初の5年間で、より効果的かつ効率的に取り組みが進められるよう、重点テーマを設定しました。

2025年の将来像

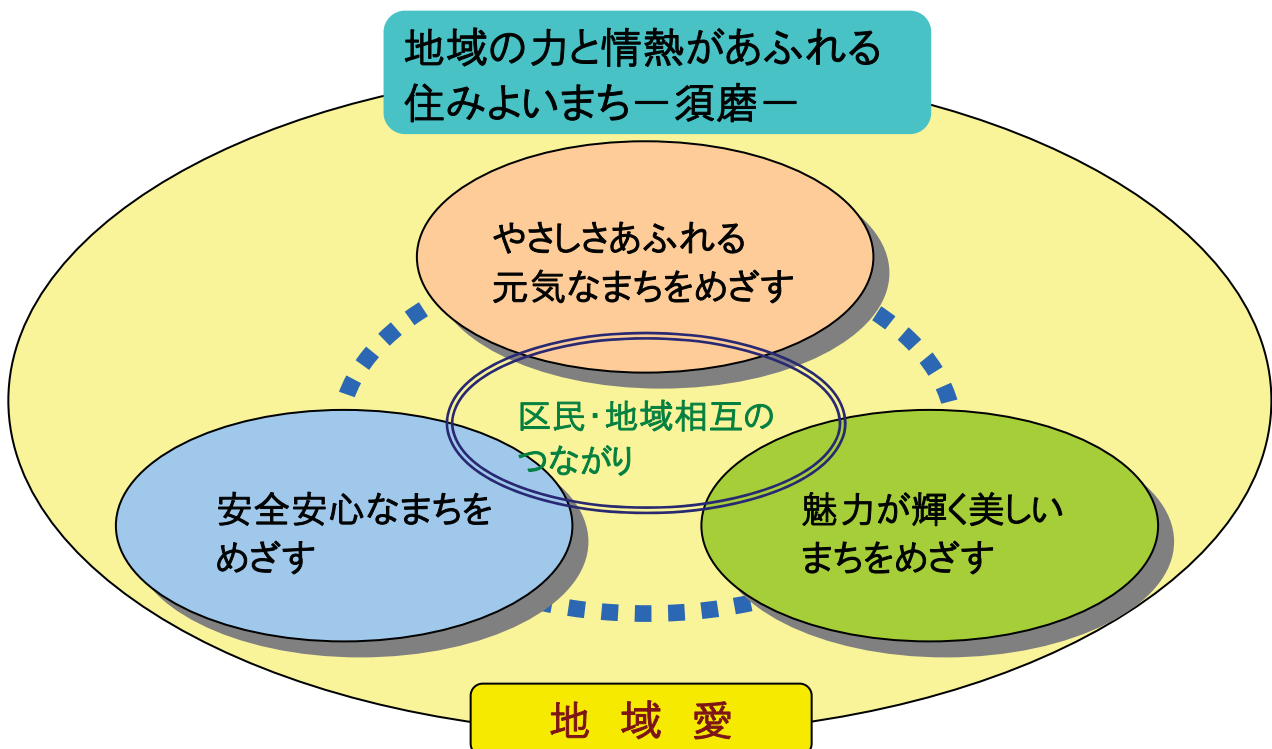
「地域の力と情熱があふれる住みよいまち—須磨—」

地域の取り組みの主体である地域住民相互のつながりで、地域愛を大切にしながら、さらに須磨の魅力を活かし、住みよさを追求する取り組みを進めます。

将来像の実現に向けた3つの方向性

- ◆ 区民生活やまちの基盤である「安全安心なまちをめざす」
- ◆ 区民一人ひとりが笑顔で過ごせる「やさしさあふれる元気なまちをめざす」
- ◆ 区の特性に根ざした誇りとうるおいある「魅力が輝く美しいまちをめざす」

須磨区の将来像のイメージ



>>住みたい・住み続けたいまちをめざして<<

須磨区の人口は、将来に向かって減少することが予測されていますが、地域全体で子どもや子育て家庭を支援する環境づくりを進めたり、歴史・文学にゆかりのある史跡・名所や森・川・海の自然環境などの地域の魅力をさらに高めていくなど、「須磨区計画」に取り組んでいくことで、多くの人々が住みたい、住み続けたいと思える「地域の力と情熱があふれる住みよいまち—須磨—」の実現をめざします。

2015年度までの重点テーマ

2025(平成37)年の須磨区の将来像を実現していくにあたり、社会情勢の変化や地域状況の変化などを踏まえながら、より効果的に取り組みが進められるよう、5年間ごとの計画を策定します。

2015(平成27)年度までの計画では、これまでの「須磨区中期計画」の取り組みの成果や課題などを踏まえ、以下の5つを重点テーマに設定します。

ともに地域で元気に暮らせるまち

～お互いを支えあう～

<重点項目>

- ◆人にやさしいまち
- ◆支えあうまち
- ◆元気なまち

子どもが健やかに育つまち

～子と親を支え育む～

<重点項目>

- ◆家庭における子育て力の強化
- ◆次世代の親育ての取り組み
- ◆子育て家庭を応援する地域の環境づくり

安全・安心のまち

～まちを守る～

<重点項目>

- ◆防犯・防災意識の啓発
- ◆地域防犯・防災活動の推進
- ◆安心してらせる環境づくり

花と緑そして水に囲まれた美しいまち

～まちを美しくする～

<重点項目>

- ◆環境にやさしいまちづくり
- ◆身近な自然環境の保全、活用
- ◆花と緑にあふれるまちづくり

地域の魅力を育み活かすまち

～まちを育み活かす～

<重点項目>

- ◆観光情報・地域情報のPR強化
- ◆「須磨」を感じる取り組みの展開
- ◆まち歩きを楽しむ環境づくり
- ◆親しみのある海岸づくり

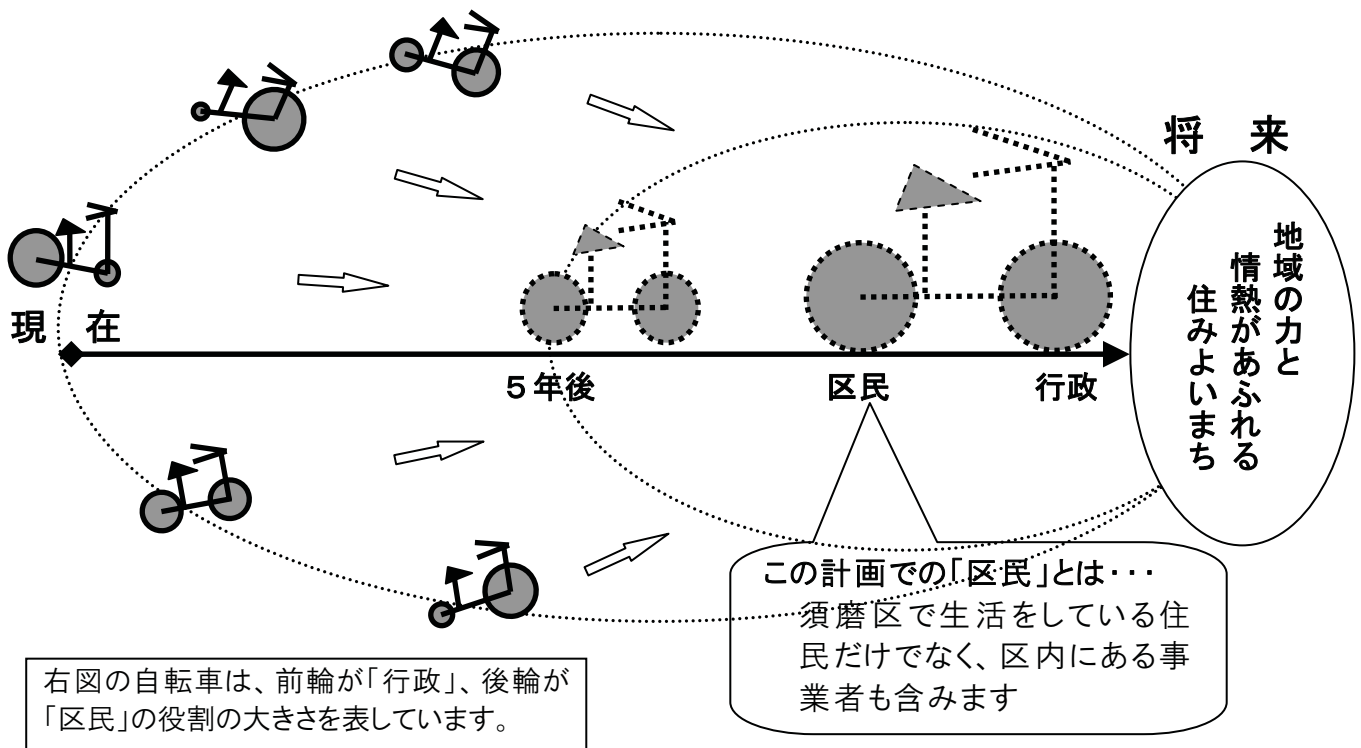


取り組みの基本姿勢

地域の力を活かした取り組みを進めます

須磨区計画に掲げる2025(平成37)年の将来像の実現のため、2015(平成27)年度までの5つの重点テーマの取り組みを進めるにあたっては、これまでと同様に「地域の力を活かしたまちづくり」の考えのもと、区民と行政が協働で取り組みを進めることとします。

この計画では、取り組みの内容によって、「区民が主体・行政は支援」、「行政が主体・区民が参画」、「区民と行政がいっしょに」という3つの区分に分類しています。



区民と行政がいっしょに課題を解決します

「須磨区の現状と課題」の中でも、課題としてあげられています取り組みの「担い手の高齢化・固定化」や「担い手不足」などの問題は、区民と行政がいっしょに解決方法を考えます。また、将来の担い手の育成として、「青少年は地域活動の人財」という考えのもと、さまざまな角度から、青少年が地域活動へ参画できるような仕組みづくりを進めます。

須磨区の魅力を再発見し、さらに高めていきます

源平合戦や源氏物語などの歴史、文学を語る史跡・名所がいたるところにあり、須磨海岸や須磨アルプス、妙法寺川などの身近な自然環境がまちに隣接しています。これらの魅力資源を再発見し、さらに魅力を高める取り組みを進めます。

区民相互、地域間のつながり、情報共有を図ります

区民相互、地域間の横のつながりを大切にしながら、地域ごとの特性・課題・魅力などを、区民と行政が意識を共有し、取り組みを進めます。

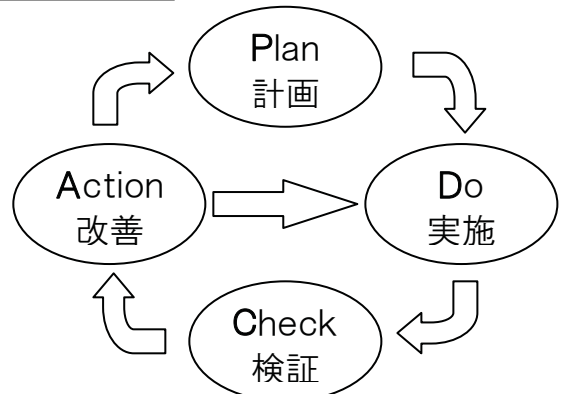
これまで培ってきた取り組みを見直し、工夫します

「須磨区中期計画」におけるこれまでの取り組みから、見えてきたさまざまな課題を検証した結果を踏まえ、これまでの取り組みを見直すべきところは見直し、工夫を続けながら、取り組みを進めます。

検証をしながら、効果的な取り組みを進めます

区民と行政の協働の取り組みは、1年ごとにその状況や効果・成果などについて、検証を進めていきます。

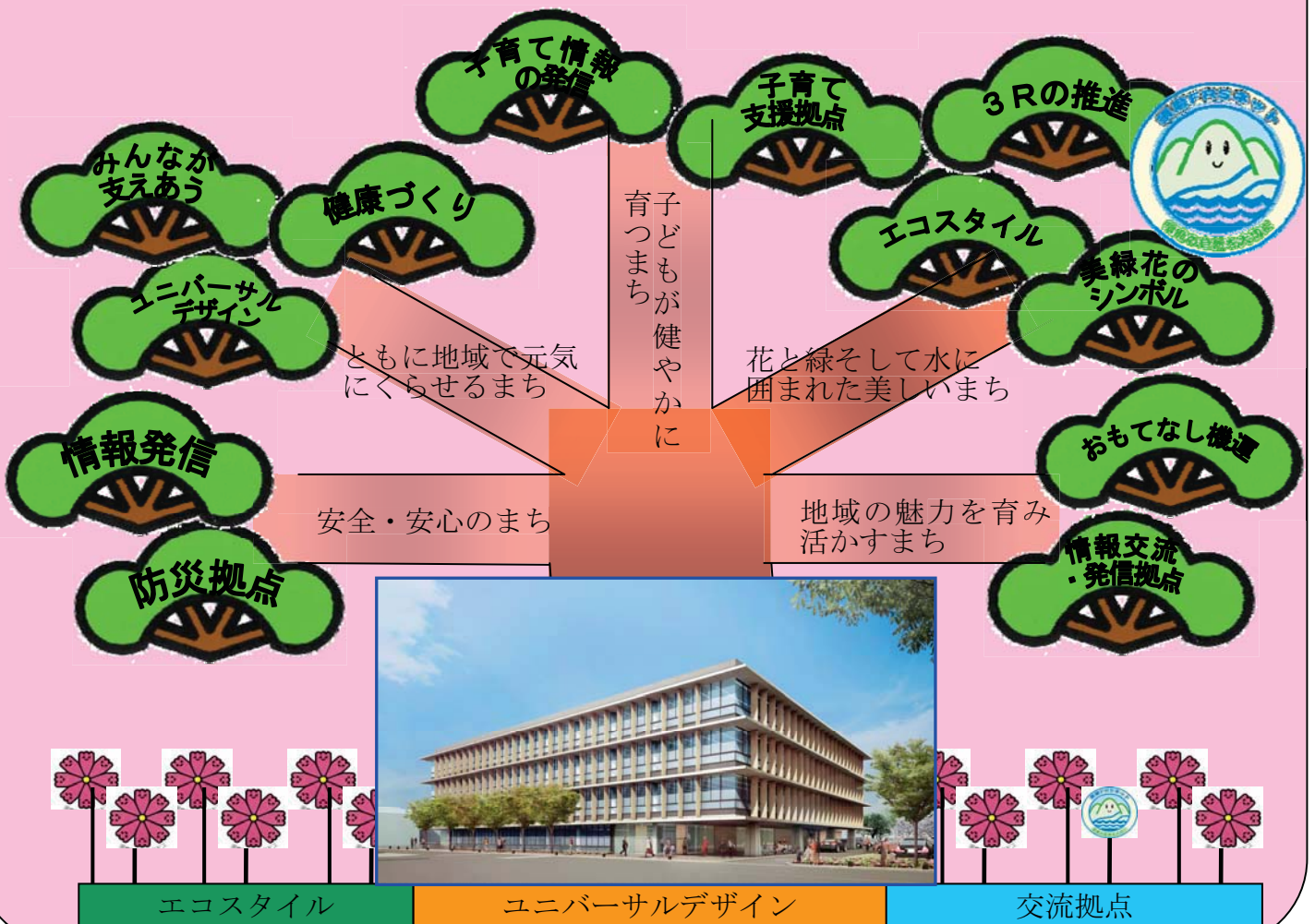
この検証により、残った課題を見つけ出し、次の年の取り組みを改善していくという「P・D・C・A」の流れを絶え間なく行い、より効果的かつ効果的な取り組みにつなげていきます。



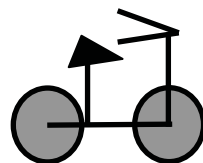
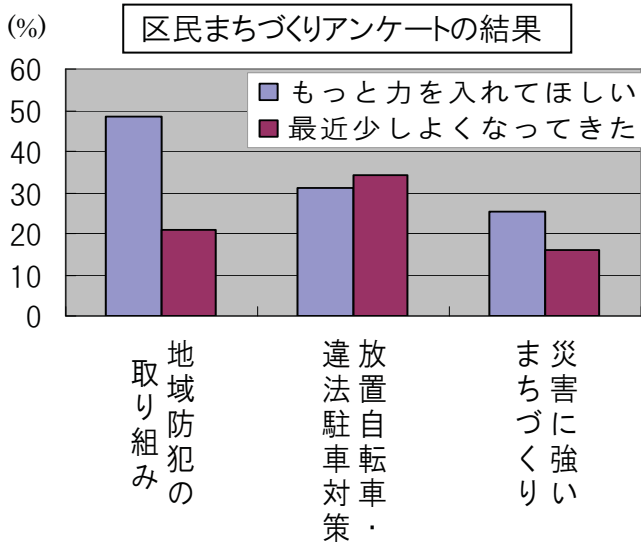
須磨区新庁舎を須磨のまちづくりのシンボルに

2012(平成24)年春に完成を予定している「須磨区新庁舎」は、「ユニバーサルデザイン」・「エコスタイル」・「地域の交流拠点」の3つの考え方を基本として整備を進めています。

須磨区新庁舎は、「地域愛」を大切にしながら、須磨の課題の解決や魅力を伸ばす取り組みを進めていくシンボルとして位置づけます。



安全・安心のまち ～まちを守る～



本文中の自転車(左図)は、前輪が「行政」、後輪が「区民」を示し、この計画の5年間の役割の大きさを表しています。

テーマの方向性

- ◆ 区民が防犯・防災に関する情報を的確に取得できるような体制を整えるとともに、次世代を担う青少年への働きかけを意識しながら、安全・安心の取り組みを進めます。
- ◆ 区民と行政の協働のもとに、それぞれが役割を果たしながら、地域防犯・防災活動を充実・推進します。
- ◆ 区民が安心して暮らせるよう、日ごろからの備えとして、ソフトとハードの両面から環境づくりに取り組みます。

防犯・防災意識の啓発

① 防犯・防災情報の共有



- ・ 地域の犯罪や災害情報をさまざまな手段で、幅広く速やかに伝達できる体制づくりを進めるとともに、地域での効果的な取り組みを紹介するなど、情報を共有する仕組みづくりを進めます。

② 青少年の意識向上



- ・ 各種地域リーダーや専門家の協力を得ながら、青少年に対し、防犯や防災に関する学習の機会を提供し、意識啓発を進めます。



- ・ 「青少年が地域を担う」という観点から、防災訓練をはじめとする地域活動への青少年の参加を促すとともに、地域の行事などでも青少年の活躍できる場づくりを進め、地域で青少年を守り育てます。



地域防犯・防災活動の推進

① 地域リーダーの育成





- ・ 地域の自主防犯パトロールの中心的役割を担う「地域防犯リーダー」を育成します。






- ・ 地域防災活動の指導者になるとともに、災害時には地域で初動対応の先頭に立つ「市民防災リーダー」を育成します。



② 地域防犯活動の推進


-  地域の安全を確保するため、あいさつ運動や声かけ運動をはじめとする自主防犯の取り組みを進めます。
-  地域の防犯グループの活性化およびグループ間の連携・交流を図るため、研修や情報交換の場を設けるとともに、行政が啓発資材の提供やパトロールへ参加するなど、より効果的な取り組みを進めます。

③ 地域防災活動の推進

-  地域防災の要である消防団が防災活動などを推進するとともに、「防災福祉コミュニティ」との連携を強化し、地域防災力の向上を図ります。
-  自分たちの地域を自分たちで守るための自主防災組織である「防災福祉コミュニティ」の実態を踏まえ、それぞれの「防災福祉コミュニティ」の自主性を尊重しながら、活動の活性化を図ります。
-  津波や土砂災害対策などさまざまな状況を想定し、実践的かつ多様な手法を用いた区総合防災訓練を実施します。




④ 区民による救急救命体制づくり



-  応急手当講習会をさらに充実して行い、区民の市民救命士の資格取得を支援します。また、「民間救急講習団体(FAST)」による、市民救命士の養成を進めます。

安心してらせる環境づくり

① 災害時の連携体制の充実・強化

-  「防災福祉コミュニティ」などと連携を図りながら、災害時の情報伝達や避難所の開設・運営などで迅速な対応ができるよう体制を整えます。

② 事業者との連携体制づくり

-  配達業務や検針業務などを行っている事業者の協力を得ながら、きめ細かいパトロール体制の仕組みづくりを進めます。
-  災害時に、地域の事業所に対して災害の発生を知らせる情報連絡網を整備するとともに、連絡を受けた事業所が自主的に行う支援の取り組みを進めます。

③ 災害時要援護者対策の推進



- 子どもや高齢者、障がい者などの要援護者と地域住民との平時からのあいさつ・声かけなどによる顔の見える関係づくりを進め、区民への意識啓発を行うなど、災害時における要援護者対策を進めます。



④ 安心してらせる住環境整備



- 区民と行政の協働によるまちの中の防犯・防災安全点検および施設改善を進めます。



- 区民一人ひとりの「減災」への取り組みとして、区民と行政の協働による呼びかけや各戸訪問などにより、すまいの耐震化を促進します。



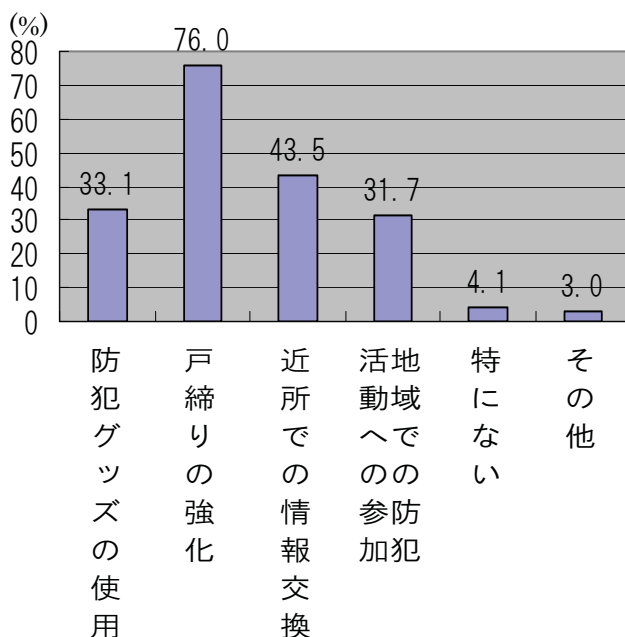
- 夜間における防犯対策として、家庭や事業所の門灯点灯などを呼びかけるとともに、街灯の32W化を進めます。



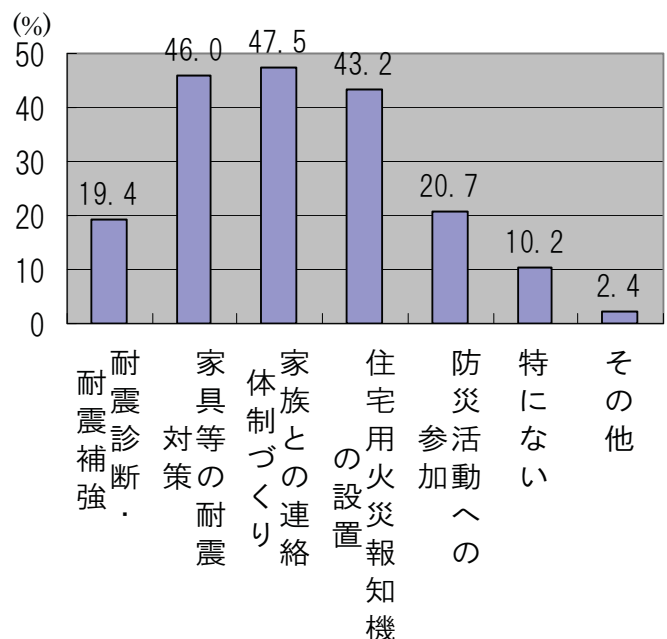
- 多くの区民が集まる区内の各施設にAEDの設置を促進します。

区民まちづくりアンケートの結果 ～「安全・安心のまち」関連～

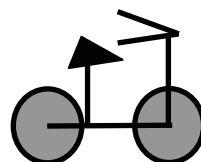
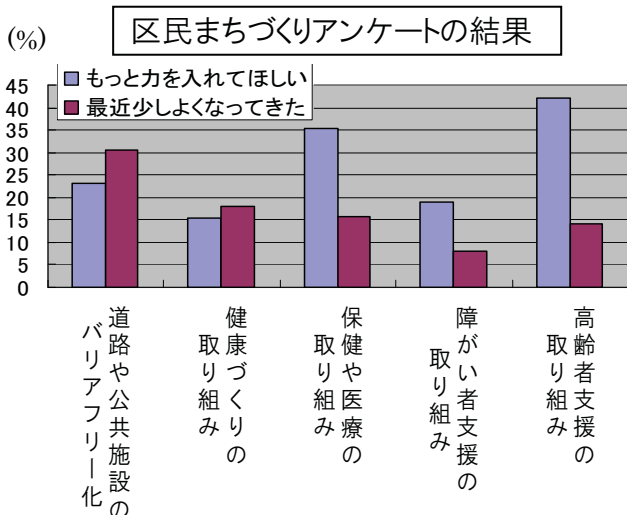
取り組むことができる防犯対策



取り組むことができる防災対策



ともに地域で元気に くらせるまち ～お互いを支えあう～



本文中の自転車(左図)は、前輪が「行政」、後輪が「区民」を示し、この計画の5年間の役割の大きさを表しています。

テーマの方向性

- ◆ 住み慣れた地域でお互いに支えあい、安心して、元気にらせるユニバーサル社会の実現に向けて、意識の向上を図るとともに、支えあいのネットワーク形成を図ります。
- ◆ 支えあいのまちづくりに向けて、子どもや高齢者、障がい者が地域で活躍でき、すべての人が住み慣れたまちで、ともにくらす住民として相互に交流しあうことができる場づくりを進めます。
- ◆ 地域の個性を活かしながら区民が主体となった健康づくりの取り組みを地域単位で展開します。

人にやさしいまち

ユニバーサル社会とは、いつでもだれでもどこでも支えあう社会のことです。

① ユニバーサル社会の実現に向けて



- ・ 助け合いや思いやりの心を持ち、困っている人への声かけや区民同士のあいさつ、駐輪のマナーを守ることなど、身近なところから実践活動に取り組みます。

② ユニバーサル社会の考え方の広報・啓発



- ・ ユニバーサル社会の考え方を広く普及させるために、さまざまな機会をとらえて、広報・情報発信に努め、また、地域や学校での学習会・講演会を通して意識の向上を図ります。

③ まちの中の施設点検

多くの人が利用する施設は、だれもが利用しやすいものとなるよう、さまざまな人の立場でソフト・ハードの両面から点検に取り組みます。



- ・ 須磨区新庁舎を「人にやさしいユニバーサルデザイン」を意識しながら整備します。また、新庁舎周辺などで、まちの中の点検を区民と行政が協働で進め、施設や歩道の段差解消をはじめ、わかりやすい案内の工夫に取り組みます。



- ・ まだ設置されていない鉄道駅へのエレベーターやエスカレーターに向けて、関係機関に働きかけを行います。



支えあうまち

① 交流しあうまちづくり

年齢や性別、障がいの有無に関わりなく、地域のすべての人が互いに交流しあい、支えあうまちづくりを進めます。



・子どもと高齢者・障がい者との交流、社会福祉施設の地域開放などによる地域住民との交流を進めます。



・障がい者の小規模作業所の合同バザーなどを開催し、障がい者と地域住民とのふれあいを進めます。



・独居高齢者が閉じこもることがないように、ふれあい給食会などの参加を働きかけます。特に男性を意識したクッキング教室の開催などにより、きっかけづくりの輪を広げます。



② 地域の中でみんながともに支えるまちづくり

住み慣れた地域で、みんなが支えあってくらしたいという「地域共生」の意識づくりを進めます。



・地域団体と社会福祉施設、行政が連携し、地域で支える保健・医療・施設ネットワークシステムの充実を図ります。



・地域と団体と社会福祉施設、行政のネットワークにより、独居高齢者や高齢夫婦世帯の見守り活動を展開します。また、虐待防止や認知症高齢者の支援などを進めます。



・各種地域リーダーや地域のボランティアの養成を通じて、地域を支える活動の担い手を増やし、育成します。



・須磨区障害者地域自立支援協議会が中心となり、障がい者の地域生活を支える環境づくりを進めます。

元気なまち

① 地域の個性を活かした健康づくり



・「健康づくりリーダー」、「健康こうべ21市民推進員」などにより、地域単位の健康づくりや介護予防の取り組みを進めます。



・50歳代から60歳代のいきいき世代や子育て世代などに対する「健康づくり」や「生活習慣病予防」などの取り組みを進めます。



② 健康づくりの情報の収集・発信



・ 地域における健康づくりウォーキングルートなどの情報発信を進めます。



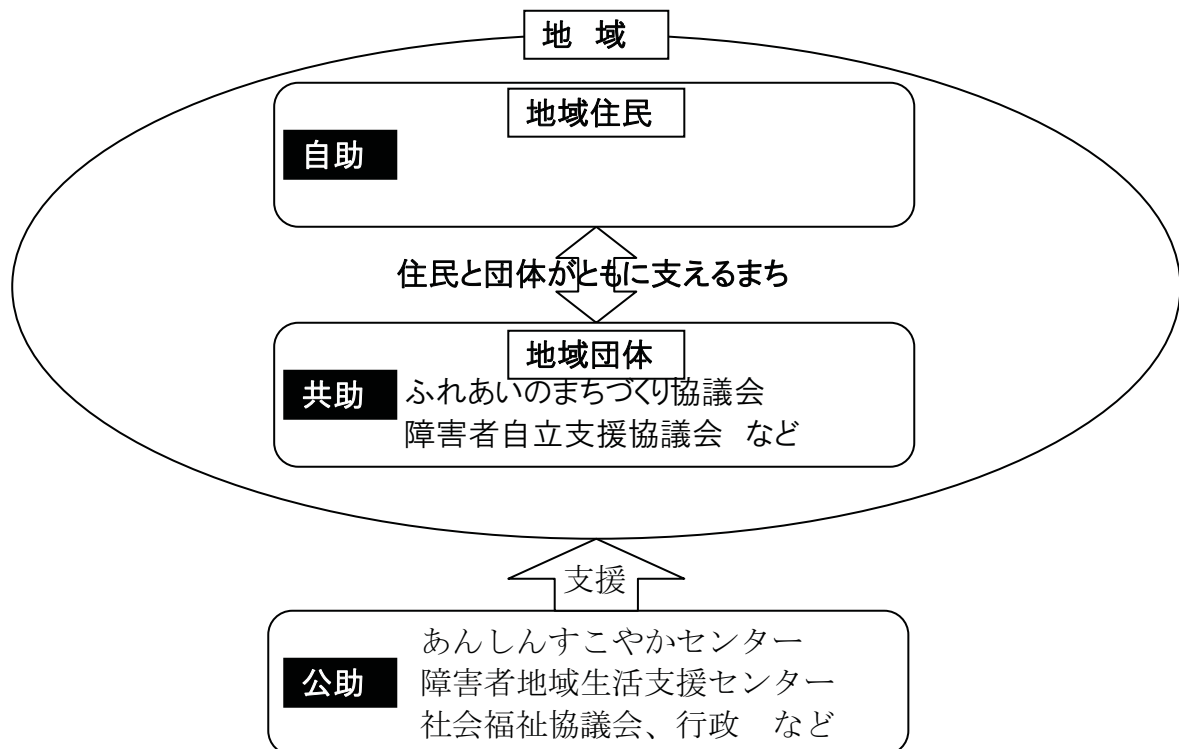
・ 地域福祉センターや学校などを利用して健康づくりに取り組んでいるグループの情報など、身近な健康づくり情報を収集、発信します。



・ 感染症や生活習慣病予防など、年齢や個人のニーズに合わせた健康情報を収集、発信します。

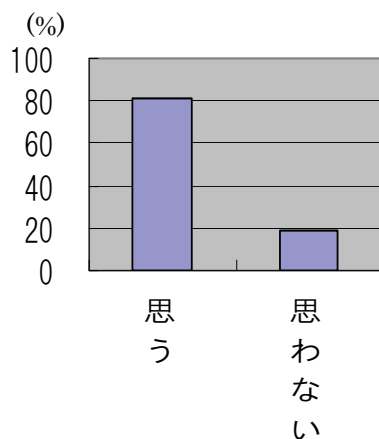


・ 須磨区における感染症早期探知地域連携システム「神戸モデル」の充実を図ります。

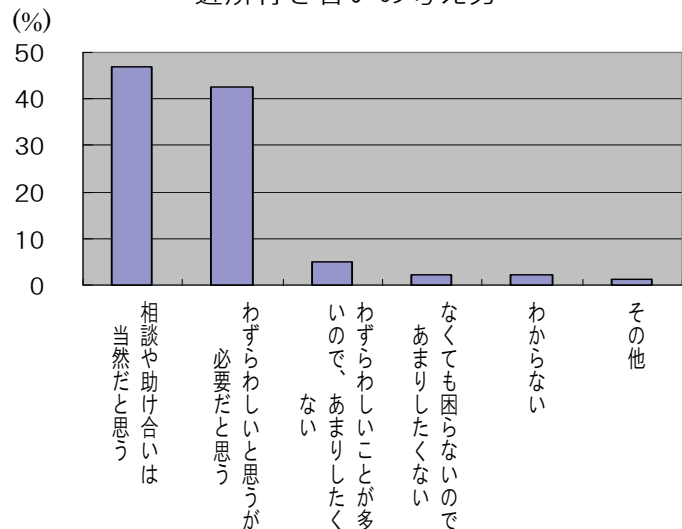


区民まちづくりアンケートの結果 ～「ともに地域で元気にくらすまち」関連～

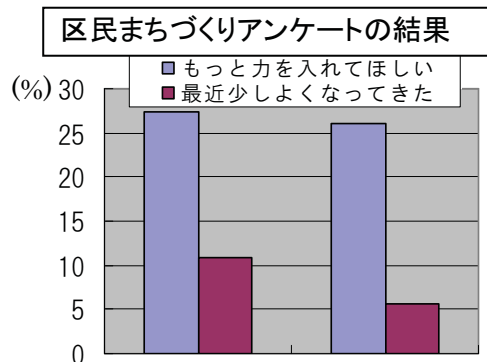
健康づくりに取り組もうと



近所付き合いの考え方

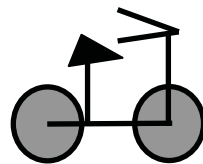


子どもが健やかに 育つまち ～子と親を支え育む～



子育て支援の
取り組み

青少年の健全育成
の取り組み



本文中の自転車(左図)は、前輪が「行政」、後輪が「区民」を示し、この計画の5年間の役割の大きさを表しています。

テーマの方向性

- ◆ 子どもたちの健やかな“育ち”や“自立”を促進し、さらに子育て中の親を支える取り組みを進めます。
- ◆ そのために、区民と行政が一体となり、地域全体で子どもや子育て家庭を支援する環境づくりを進めます。

家庭における子育て力の強化

① 父親の育児・家事参加の推進



- ・ 父親が家庭でしっかりと子どもと向き合い、母親の育児不安などへの理解を深められるよう、育児に対する意識の啓発を行います。

② 子育て情報の発信



- ・ 子育てに関するさまざまな情報(教材の提供、相談、講座など)を家庭で気軽に入手・交換できるよう、インターネットなどさまざまな手法で、タイムリーに情報発信を行う仕組みづくりを進めます。

次世代の親育ての取り組み

① 地域における異年齢および異世代交流の場づくり



- ・ 子どもたちが社会の基本的ルールや感性を身につけることができるよう、地域団体と子育て関係施設などによる、異年齢・異世代の多様な交流の場づくりを進めます。



② 命の大切さを学ぶ場づくり



- ・ 児童・生徒と子育て中の母親・乳幼児との交流の場を設け、子どもたちが命の大切さを学べる場づくりを進めます。



- ・ 中学・高校生が性や酒、たばこ、薬物などについて、正しい知識を持って行動できるよう、健康教育を通して、啓発を行います。



子育て家庭を応援する地域の環境づくり

① 子育て支援ネットワークの推進



- ・ 子育てに関わる地域団体と子育て関係施設などが、地域の子育て支援の現状や課題について話し合う場である子育て支援ネットワークの活動を進めます。



- ・ 概ね小学校区ごとに開催している「子育て地域連絡会」において、支援を要する家庭への見守り体制などを検討し、より身近な地域で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。



- ・ 子育て中の親が安心感を持ちながら子育てができ、また地域全体から子どもたちが見守られながら、健全に育つ環境づくりのために、地域の子どもやその親に対するあいさつや声かけ運動を進めます。



② 子育て中の親子の集いの場・交流の場づくり



- ・ 地域福祉センターや子育て関係施設で、子育て家庭が集い、交流できる場づくりを進めます。



- ・ 子育て家庭の集う場で、親同士が子育ての知識や方法、悩みについてもアドバイスしあえるよう、環境づくりを進めます。



- ・ 育児不安に対する相談機能や情報発信機能、地域の子育てサークル支援機能などを強化するため、新たな子育て支援の拠点づくりをめざします。



③ 地域の子育て支援者の養成



- ・ 子育て中の仲間同士(ピア)の支え合いという視点も加えながら、地域で子育てを支援するボランティア「すまっこサポーター」の養成、研修を引き続き進めます。

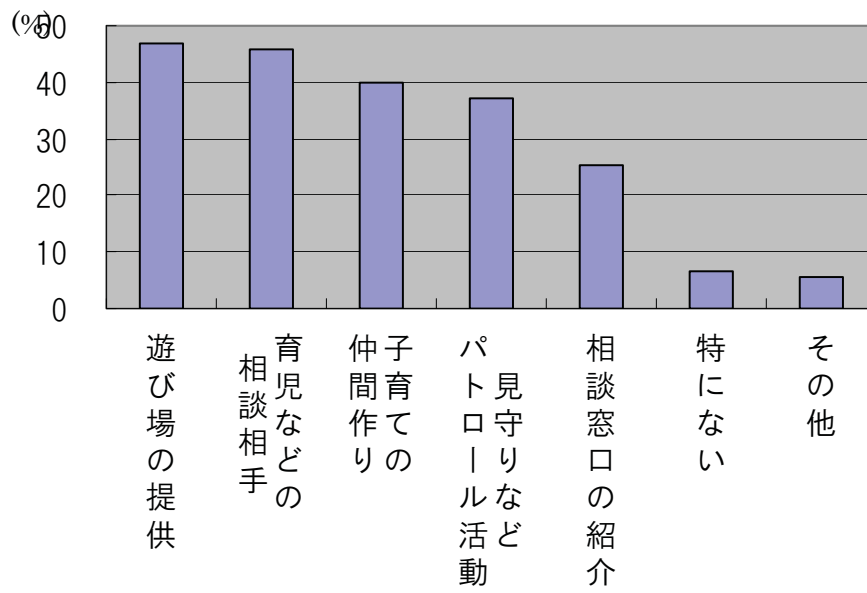


- ・ すまっこサポーターと、地域団体や子育て関係施設との連携を進め、活動の場を広げます。

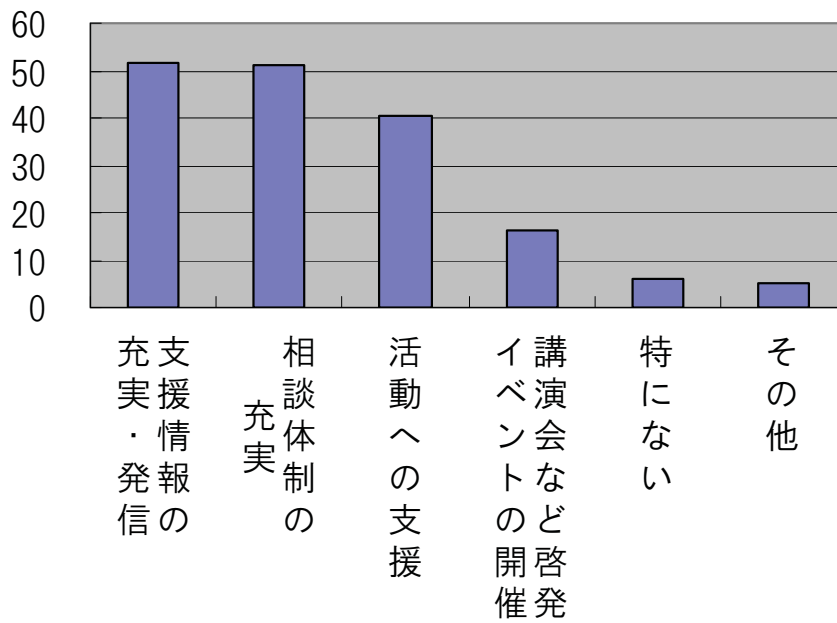


区民まちづくりアンケートの結果 ～「子どもが健やかに育つまち」関連～

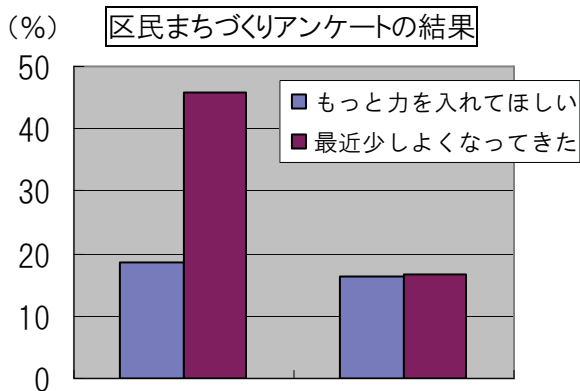
地域で進めるべき 子育て支援の取り組み



(%) 行政が行うべき子育て支援の取り組み

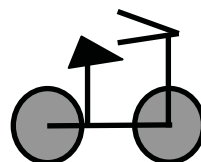


花と緑そして水に 囲まれた美しいまち ～まちを美しくする～



まちの花の美化・取り組み・緑化

海、山、川等の自然環境の保存・活用



本文中の自転車(左図)は、前輪が「行政」、後輪が「区民」を示し、この計画の5年間の役割の大きさを表しています。

テーマの方向性

- ◆ 地域における環境意識を高めるため、区民と行政の協働による美化活動やマナー・モラルの向上に取り組み、次世代に誇る「環境にやさしいまち」づくりを進めます。
- ◆ 恵まれた自然環境を区民自らの手で守り育て、次世代に伝えていくとともに、区民同士、区民と行政が連携した活動を通して「豊かな自然環境がいきづくまち」づくりを進めます。
- ◆ 区民と行政の協働による飾花・緑化活動を継続し「花と緑にあふれる潤いあるまち」の実現に取り組みます。

環境にやさしいまちづくり

① クリーン作戦の継続実施



- ・ 5・6月と11月のクリーン作戦強化月間に、各地域で「区内一斉クリーン作戦」を実施するとともに、須磨区新庁舎の周辺においても、定期的なクリーン作戦を実施し、美しいまちづくりを進めます。



② 家庭における3Rの推進

家庭から排出されるごみを減らし、資源化を進めるための取り組みを、区民と行政の協働で展開します。

- 「ワケトンハウス」を情報発信基地とした3Rの推進活動を進めます。



- ・ 「ワケトンリーダー(ごみ減量推進員)」を養成し、リーダーを中心に地域におけるごみ分別や減量・資源化の取り組みを進めます。



- ・ 「ごみ&リユース展(常設)」や各種講習会、イベントなどの開催により、3Rの啓発活動を展開します。



- ごみの分別への理解や関心が低い人たちを中心に、学校や施設、地域団体と行政の連携のもと、説明会を行い、各年代層への3Rの啓発を進めます。

「3R」とは・・・

リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)・リサイクル(再資源化)によるごみの減量・資源化を進める考え方

③ 地域における取り組みの強化



- ・ 地域団体や商店街などで展開しているごみの減量・リサイクルの取り組みをさらに充実し、区民や買い物客への啓発を進めます。

④ KEMSの取り組み



- ・ 区役所は、神戸独自の環境マネジメントシステムである「KEMS」を継続して取得します。また、KEMSの取り組みについて、事業者や地域団体などへの啓発を進めます。さらに、須磨区新庁舎においては、環境に配慮するため、太陽光発電システムを導入します。

身近な自然環境の保全・活用

① 自然環境を守り育てる取り組み



- ・ 「須磨FRSネット」とともに、須磨の自然環境を次世代に引き継いでいくため、自然環境を守り育てる取り組みを進めるとともに、その行動の大切さや必要性などの情報発信を進めます。



- ・ 「須磨FRSネット」をはじめとする地域団体が行う自然環境保全や環境教育などの取り組みが相互に連携し、また、南部と北部のつながりを創出しながら、さらに広がりのある取り組みとなるよう展開します。



「須磨FRSネット」とは・・・

須磨の自然環境を舞台に、環境保全や環境教育などの取り組みを進める地域団体のネットワーク。

② 多様な世代の参画による活動推進



- ・ 須磨の自然環境を子どもたちに知ってもらい、自然を大切にする気持ちを醸成するため、「須磨FRSネット」が中心となり「須磨エコアスロン」や「須磨環境塾」などの自然体験学習を展開します。

③ 妙法寺川親水空間の活用



- ・ 多くの人が集い、河川にふれあうことができる「妙法寺川の親水空間」を安全・快適に利用でき、より親しめる空間となるよう、自然学習・環境学習などの取り組みを区民と行政が協働して進めます。

④ 須磨海岸を守り育てる取り組み



- ・ 須磨海岸を美しくする運動推進協議会による「須磨海岸クリーン作戦」や「ごみ持ち帰りキャンペーン」を引き続き、行政と協働で実施します。

花と緑にあふれるまちづくり

① 花と緑の名所に親しむ取り組み



・ 地域団体による公共的な場所での花壇設置を支援し、設置箇所の増加を図ります。



・ 花や緑の催しや須磨区の花「コスモス」、須磨区の木「松」の名所を、多くの区民が親しめるよう、企画や情報発信などの取り組みを展開します。



・ 花と緑の新たな名所づくりを進めるとともに、花と緑に関する情報発信を進めます。

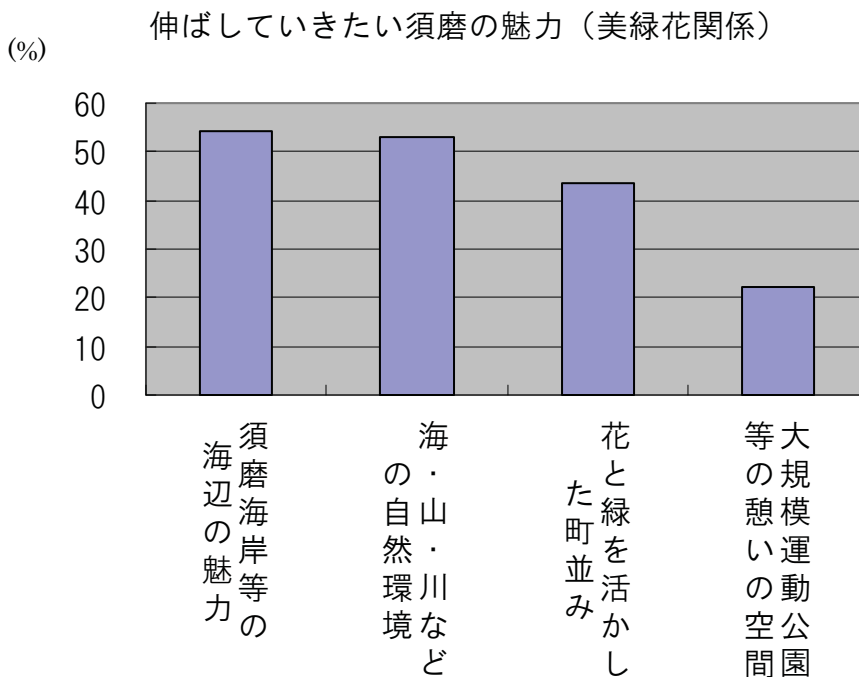


② 新庁舎周辺の飾花の取り組み



・ 須磨区新庁舎では、地球環境に配慮し、駐車場に緑化ブロックを採用します。その周辺においては、区民と行政が協働して、花と緑のシンボル地域となるよう、緑化・飾花活動を進めます。

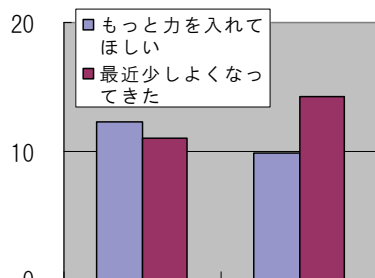
区民まちづくりアンケートの結果 ～「花と緑そして水に囲まれた美しいまち」関連～



地域の魅力を 育み活かすまち ～まちを育み活かす～

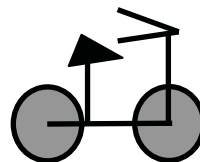


区民まちづくりアンケートの結果



観光・商業の振興

地域の歴史・文化の活用



本文中の自転車(左図)は、前輪が「行政」、後輪が「区民」を示し、この計画の5年間の役割の大きさを表しています。

テーマの方向性

- ◆ 身近な自然、歴史に寄り添いながら育んできた地域の魅力に、区民や来訪者が共感し、それぞれが「須磨の魅力発信源」となるような取り組みを進めます。
- ◆ 区民による特色を活かした取り組みを展開するとともに、新たにニュータウンへの愛着や周辺地域の魅力再発見を意識した取り組みを進めます。
- ◆ だれもが気軽にまち歩きを楽しめるよう魅力あるルート設定や観光情報の充実を図り、来訪者をお迎えするまち全体の「おもてなし機運」の向上に取り組みます。
- ◆ 須磨海岸や歴史ある社寺、観光施設などの多数の魅力資源相互のつながりやテーマ性を持たせた取り組みを進めます。

観光情報・地域情報のPR強化

① 歴史資料などの収集・保存・活用



- ・ 須磨の歴史、自然、文化、産業などの資料を収集、整理し、区民や来訪者を問わず多くの人が地域を知り、学び、親しむことができる機会をつくれます。

② 「須磨観光協会」などによる情報発信の充実



- ・ 須磨観光協会ホームページや須磨観光ガイドマップの充実を図るなど、さまざまな手法で効果的な情報発信に取り組みます。



- ・ 須磨の魅力資源をつなぐスタンプラリーやまち歩きなどを、テーマに工夫を加えながら引き続き展開します。



- ・ 須磨の雰囲気や魅力資源を愛する「須磨ファン」を発掘し、須磨観光協会と連携して、須磨の魅力発信源となるよう仕組みづくりを進めます。



③ 情報発信・交流拠点づくり




- ・ 須磨区新庁舎内でコミュニティが交流し、活動情報やイベント情報を発信できる拠点を設けます。また、この拠点を地域の活性化の取り組みとの連携を図りながら活用していきます。




- ・ 多くの人が行き交う商店街などにおいて、観光・地域情報の発信・交流機能を設けます。

「須磨」を感じる取り組みの展開



① 区民が主体となった取り組みの展開

-  須磨を愛する区民による歴史、文学、自然などの魅力を活かしたイベントや取り組みを活発に実施します。

② 特色を活かした商店街の活性化

-  商店街や市場と、区民・学生・地域団体などが連携し、地域の特色や強みを活かした名物づくりを進めます。


③ ニュータウンと周辺地域の魅力再発見

-  急速な高齢化が進むニュータウンにおいて、“ふるさと”としての「わがまちニュータウン」への愛着を高めるため、まちなみや公園など身近な資源を活かした、健康づくりウォーキングのルートづくりなどの取り組みを進めます。
-  また、周辺地域(車・白川・多井畑・妙法寺)に息づく伝統文化や自然の魅力にふれ、親しむ取り組みを進めます。




まち歩きを楽しむ環境づくり



① まち歩きルートの設定・活用

-  区民や来訪者が歴史、自然、景観などの須磨の魅力を感じることができるまち歩きルートづくりを進め、広く活用を図ります。

② 県道神戸三木線沿いの魅力活用

-  県道神戸三木線(都市計画道路垂水妙法寺線)の整備にあわせ、板宿から妙法寺の沿道にある史跡への案内の充実を図ります。

③ 「おもてなし機運」の向上

-  まち歩きを通して、須磨を楽しむことができるよう、おもてなし協力店の設置やテーマに応じた観光ガイドなど、まち全体で「おもてなし機運」の向上を図ります。
-  地域の特色や雰囲気を感じさせながら、須磨の魅力資源へ誘導する「案内サイン」の設置を進めます。



親しみのある海岸づくり

① 海岸の有効活用



- ・ 海辺の自然、歴史の舞台となった海岸に親しむ取り組みや海岸を利用したスポーツなど、さまざまな形で海岸を活用し、情報発信を進めます。



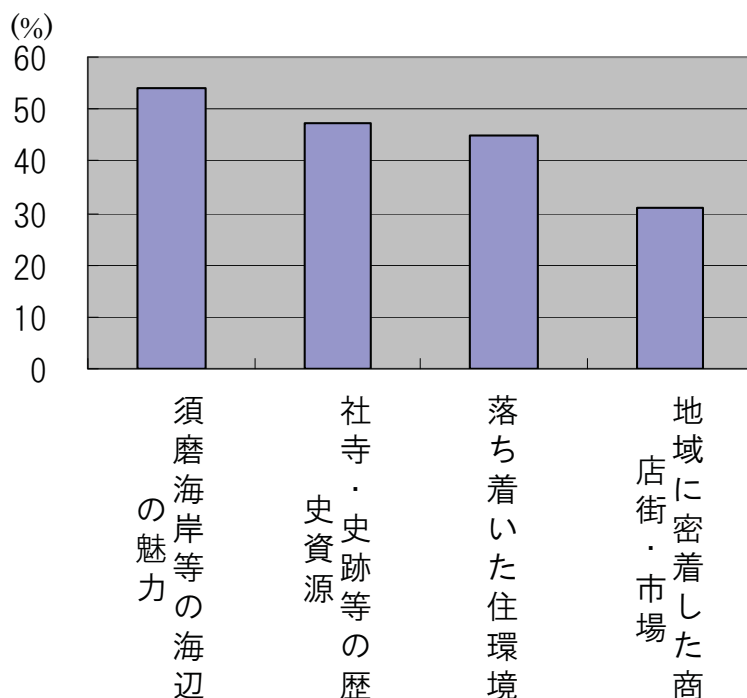
② 海岸の魅力を育む



- ・ 区民と海岸利用者、行政が協働で「須磨の海岸文化づくり」を進め、魅力ある須磨海岸に向けての意識共有を図ります。

区民まちづくりアンケートの結果 ～「地域の魅力を育み活かすまち」関連～

伸ばしたい須磨の魅力（魅力発信関連）



>> 取り組みは、須磨観光協会と一しょに <<

須磨観光協会と連携し、制約のない自由な発想で「須磨の将来がこうなればいいな！」という夢や思いを集めた「須磨のグランドデザイン」づくりを進めます。

※ 須磨観光協会とは・・・

須磨区の観光の充実とより一層の活性化を図るため、区内の観光施設や宿泊施設などの幅広い関係者で構成された任意団体です。

「 須 磨 い る 目 標 」 の 設 定

この計画を実現するにあたり、区民と行政がともにめざす目標値「須磨いる目標」を設定します。

目標年次である2015(平成27)年度までに、計画の実現に向けた取り組みを進めていく中で、その成果を測る「ものさし」として活用します。

計画のそれぞれの重点テーマの象徴的な取り組みや須磨ならではの取り組みを中心に、選定しています。

須 磨 い る 目 標

重点テーマ	項 目 <予定>	現状値	須磨いる目標
安全・安心のまち	地域防犯リーダーの養成人数	96人	160人
ともに地域で元気にくらす せるまち	障がい者とともにくらす住民との交流事業の数	9か所	20か所
	地域単位の健康づくり活動の支援数	15か所	20か所
子どもが健やかに育つ まち	すまっこサポーターの養成人数	188人	260人
花と緑そして水に囲まれた美しいまち	ワケトンリーダーの養成人数	0人	320人
地域の魅力を育み活かすまち	おもてなし協力店の数	0店	50店

※現状値は平成22年3月31日現在の数値を掲載

策定までの経緯

区民と行政が協働で策定作業を進めました

須磨区計画の策定にあたっては、2008(平成20)年度から区民と行政が協働で、将来像や重点テーマの設定、詳細の内容について、策定作業を行いました。

まず、アンケートや意見交換会を行い、区民のニーズやまちへの思い、区の課題などを確認・整理し、それをもとに、須磨区区民まちづくり会議や有識者と行政がいつしよに計画の検討を進めました。

<区民まちづくりアンケートの実施> ※主な内容は、P. 7~8を参照してください。

<区民まちづくりシンポジウムの実施概要> ※主な内容は、P. 9を参照してください。

<区民リーダーや大学生のまちへの思い> ※主な内容は、P. 9を参照してください。

<須磨区区民まちづくり会議での検討状況>

須磨区区民まちづくり会議 第8期(平成20年度・21年度。委員数42人)および第9期(平成22年度。委員数44人)により、将来像、重点テーマ、計画の内容について検討しました。

◆ 総会	
(第8期)	平成20年7月3日
	平成21年3月24日
	11月19日
	平成22年3月23日
(第9期)	平成22年8月5日

◆ 幹事会	
(第8期)	平成20年12月19日
	平成21年3月19日
	6月17日
	10月27日
	11月11日
	平成22年3月2日・16日

◆ 部会

安全・安心のまち、人にやさしいまち、子育て、美緑花、魅力発信の5つの部会を設定し、合計13回の部会を開催し、計画の内容を検討しました。

区民まちづくり会議は、区のまちづくりについて、区民自らが話し合い、実践を進めることを目的に設置されたもので、区内の各種団体の代表者などで構成する団体です。



須磨区の花コスモス



須磨区の木 松